

福岡市，猫の屋内飼育のススメ



猫は家の中で飼いましょう

外出には以下のような危険が潜んでいます

- 交通事故にあう（死亡やケガ）



- 野良猫とケンカし感染症にかかる



- 迷子になる

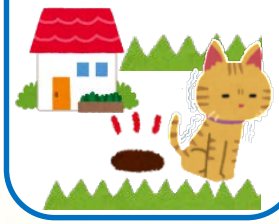


また外出中に，周囲のお宅へ**めいわく**をかけているかもしれません

- 車・バイク等に乗り爪跡・足跡をつける



- よそのお宅の敷地内での排泄行為



- アレルギーの方に対する被害（毛やフケ）



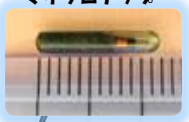
不妊去勢手術をしましょう



不妊去勢手術をしていない猫は，
たった一回の外出や**オス猫とメス猫が一緒に生活する環境**
であれば**簡単に妊娠**します。
しっかりお世話できる頭数だけ飼育しましょう。
手術することで予防できる（子宮卵巣，乳腺，精巣などの）病気もあります。



迷子札をつけましょう





猫は一度迷子になるとなかなかお家へ帰ることが出来ません（身元が分からないからです）。

・・・そんな時に頼りになるのが『**迷子札**』
連絡先や名前などを明記した**迷子札**を首輪に着けましょう。万が一，首輪が外れた場合に備え，皮下に埋め込む**マイクロチップ**（個体識別番号入りのICチップ）も利用しましょう。

迷子になった時，**災害が発生**したとき，猫の安全を守るため，迷子札等をしっかりとつけておきましょう。

最期まで飼いましょう

猫の寿命は長いもので15年以上になります。
歳をとると体の機能は徐々に低下し，様々なお世話が必要となります。
長い時間の中で結婚や引っ越しなど家庭環境も変わっていくでしょう。

しかし，どんなことがあっても最期まで責任をもって飼育してください。
やむを得ず飼育できなくなった時は，責任をもって新しい飼い主を探してください。

・・・もし最後まで飼育する自信が無いときは，
最初から飼わないのも動物への立派な愛情です。

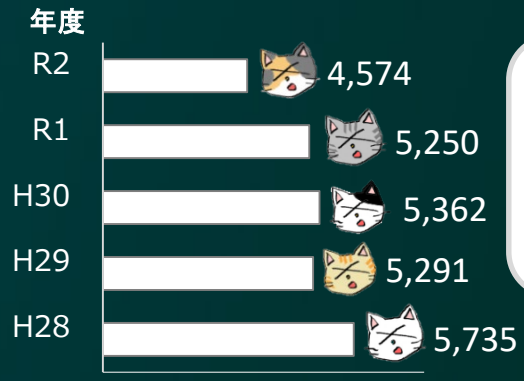


家庭動物啓発センター（ふくおかどうぶつ相談室）
西区内浜1-4-22
Tel:092－891－1231　Fax:092－891－1259

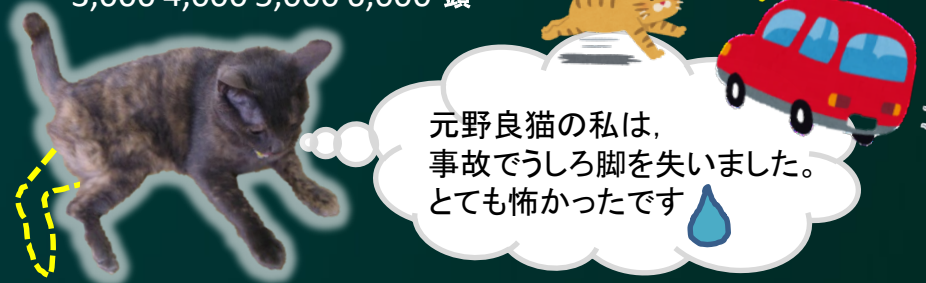


福岡市に住む野良猫の現状～野良猫はこんな危険といつも隣り合わせ～

交通事故に遭う



市内の路上で死亡した猫の頭数のグラフです。
『**1日に約13～15頭**』もの猫が交通事故等により亡くなっています。



感染症にかかる

猫同士のケンカや接触により感染する猫の病気（猫白血病や猫エイズ，猫伝染性鼻気管炎など）が原因で**命を落とす**ことがあります。



野性鳥類や動物虐待等によるケガ



子猫は野生鳥類（カラスなど）に狙われ，ケガをしたり命を落とすことがあります。
また，全国的に猫をはじめとする動物への虐待が後を絶ちません。
所有者のいない野良猫は特にその標的にされる可能性があります。



**動物をみだりに殺したり傷つける行為や動物の遺棄は犯罪です。
法律により罰せられます。**



妊娠・出産をくりかえす

猫は生後6ヶ月前後から妊娠できるようになります。
1年に**2～3回**，1回に平均**4～6頭**の子猫を産みます。

【問合せ先】 福岡市家庭動物啓発センター　福岡市西区内浜1－4－22　TEL：092－891－1231　FAX：092－891－1259